

SNSでの情報漏洩トラブル

埼玉県教育委員会

SNSの普及により情報を発信することも情報を取得することも容易になりました。しかし、誰しもが利用できるからこそ、取り返しのつかない事態に陥ることがあります。

情報の流出による2次被害

Aさんのお家に遊びに行ったBさん。
AさんとBさんは写真をたくさん撮りました。

Bさんは家に帰った後、Aさんと撮った写真をSNSにアップロードしました。数日後、BさんはAさんから最近家の周辺をうろつく不審者を見かけることや自身のSNSへ外部からログインを試みる形跡があると相談を受けました。



ID:xxxx.com
Pass:yyyy111

ここは
浦和区〇〇 1-23

うろついていた不審者はSNSでBさんがアップロードした写真を見て好意を抱き、写真の背景にうつる景色や住所から場所を特定したのです。

また、写真の背景にはAさんがSNSへのログイン情報を忘れぬようにメモしていた紙が写りこんでいました。そのため、写真を見た人がAさんのアカウントへログインを試みていたのです。

不審者の件は警察へ報告、ログイン情報の件は情報を変更することで大事には至りませんでした。



投稿による被害や影響を想像できていれば...

個人情報や個人情報を特定できるものを誰でも見られる場所に置いておくことは危険です。ただし、どんなに注意していても、中には映り込んでしまうものがあります。今回のケースにおいては、ログイン情報を記載したメモは机の引き出しに保管して隠しておくことができます。しかし、電柱に書かれた住所はカーテンで遮ることはできませんが、書かれていること自体は隠しようがありません。

投稿した本人ではなく、一緒に写っている人に影響を及ぼしたり被害を与えてしまうことがあります。写真を撮るときの注意、アップロードする際の注意が必要です。



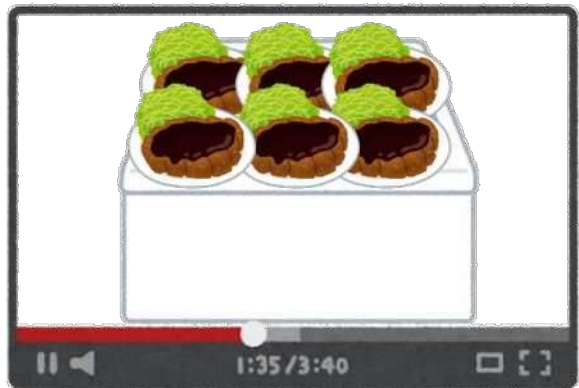
思い出に残したい、誰かに見てもらいたい、そのような気持ちは誰しもが持ち合わせています。しかし、だからといって注意なく写真をアップロードしてはいけません。個人情報が含まれていて、自身や他者を被害にあわせてしまう可能性があります。写真をアップロードする前に、どんなものが写っているか、写っていたら困るものはないか、アップロードした後、どのようなことが起こるのか想像し、時には写真をアップロードすることを止めるという正しい判断ができる力を身につけましょう。

不適切な行為による炎上

埼玉県教育委員会

私たちは、社会の一員として他人に迷惑をかけない、ウソをつかないなど、当たり前を守るべき価値観を求められます。マナーやルール、倫理、道徳、モラルが該当します。この価値観はわたしたちが生きているこの世界だけでなく、インターネット上でも同じように求められます。

モラルや倫理観の欠如



とある人気YouTuberがある企画を動画にしました。その企画は食べ物を友人のお風呂にいっぱいになるまで敷き詰めるといった企画でした。

動画内では敷き詰められた食べ物を食べる様子が映し出されましたが、完食した姿は映されていません。その後の食べ物の行方は本人たちしかわからない状態です。



実際の動画は100万回再生され、数字が示すように注目された動画となっています。しかし、動画投稿直後から食べ物を粗末にする行動に批判が集まりました。



他のYouTuberが自身のチャンネルで批判する動画をアップロードしたり、各報道機関が取り上げニュースにもなりました。

本人たちからの弁解もなく...

こういった意図で企画を行ったかはわかりません。倫理観がなかったことは考えづらいですが、倫理観に反していることを逆手にとって再生回数を伸ばすために行った可能性もあります。結果的に再生回数は伸びていますが、視聴者の反応は真逆の結果となりました。



食べ物を粗末にする事例は他にもよく見かけます。面白おかしく感じる人々がいる反面、必ず不快に感じる人々や批判する人々があります。



マナーやルール、倫理、道徳、モラルに関する話題は特に注意が必要です。多様性という言葉が示すように人々の数だけ考え方があり一方で、社会の常識として共通認識化しているものがあります。認識から外れるものは慎重に取り扱う必要があります。加えて、何かを主張する際、意図していることが、そのまま相手に伝わらない可能性を秘めています。情報を発信する際は、内容面での注意、表現面での注意、どちらも注意しましょう。